



多機能型事業所やさか

商品はマドレーヌやサブレなどの焼菓子に、ケーキやシュークリームなどの生菓子と種類が豊富です。おすすめの洋菓子店として何度か雑誌でも紹介されています。お菓子の主な製造は職人さんが担当し、利用者さんはその補助や、焼菓子の袋入れ、シール貼り、検品、箱詰め等の部分で関わってられます。

製菓事業を始められたのは「委託作業ではなく自主製品で工賃を生み、利用者さんに還元したい」という思いからだそうです。そして、やるからには福祉だからと妥協せず一般市場へ挑戦しようと考えておられ、立ち上げ時から外部のコンサルタントにアドバイスを受け、経営計画づくりや店づくりをされています。また、職員さんが一般の洋菓子店で修行され接客を学ばれたり、ラッピングの講習を受けるなどして、接客業を行うためのスキル向上にも積極的に取り組まれています。

初めは作業に慣れなかった利用者さんたちも訓練を重ねた結果、今では職員よりも厳しい検品をされるようになったそうです。

「多機能型事業所やさか」さんは熊取町にある就労継続支援B型と生活介護の事業所です。事業所内に「パティスリー・ル・ブルニエ」という名の洋菓子店を構えておられます。

熊取町には洋菓子店が多く、お客さまの獲得は簡単ではありません。それでも、お客さまからの細かい注文にも柔軟に対応し、どんな注文であっても請けていくことで、着実にリピーターを増やしていらっしゃいます。



社会福祉法人弥栄福祉会 多機能型事業所やさか

泉南郡熊取町大久保南 3-1392-21
TEL 072-453-6682 FAX 072-453-6366



GO! GO! ファシリテーターが行く!

ファシリテーターが各事業所に訪問しているいろいろなお相談に対応しています。今年度は10月末までに12事業所を訪問しましたが、事業計画の検討から事務処理のお悩みまで幅広い相談となっています。代表的なものをいくつかご紹介します。

“下請け作業がなくなったので新規の受注先を開拓したい”

長く取引をしていたお仕事が急になくなってしまいました。新しいお仕事先を紹介してもらいましたが、短期納期の仕事を中心でなかなかうまく取り組めない状態でした。販路コーディネーターも同行して作業現場も見せていただきましたが、作業工程もまだ工夫の余地があり、新規開拓より現在の取引先との関係性を強化する方が容易であることから、新規開拓を急がず現状の改善から取り組むことになりました。

“自主製品をつくりはじめたが思うような商品にならない”

新規事業として自主製品づくりに取り組むことになりました。製品の製造については研究を重ねられていましたが、なかなか納得のいくものになりませんでした。訪問時には製品に対する考え方などをお伺いするとともに、他事業所の製品を見ていただきながらつくりたいもののイメージを深めました。さらに技術指導者の派遣についで製品づくりをフォローしています。

ファシリテーターの相談では、課題整理と情報提供を中心に対応しています。必要に応じて専門家の支援や対事業所との交流などに必要なながら、工賃向上に向けた取り組みを支援しています。ご相談のご希望がありましたら総合相談窓口までご連絡ください。

第5回スイーツ甲子園

関西大会結果報告!

平成25年11月10日(日)、神戸元町にて、「第5回スイーツ甲子園」が開催されました。元町6丁目の商店街では、2府10県から選ばれた事業所の商品が並び、一般のお客様による試食投票が行われました。それぞれのブースでは各地域の特産品の話題から観光などにも話が拡がり、事業所メンバーとお客様が楽しげに会話されていました。投票数は3,332票。最多得票数を獲得した「和三盆ブリュレ」が“はばタン賞”に輝きました。



グランプリ
丁子麩ラスク (滋賀県 RASHIKU)

準グランプリ
玄さん がんこサブレ (兵庫県 すいーつ)

はばタン賞
和三盆ブリュレ (徳島県 障害者就労支援センターかがやき)

同日、エスタシオン・デ・神戸では、ヌーヴェルパティスリー・デュ・ジャポン顧問を委員長とし、7名の専門家による審査会が開かれ、エントリーした事業所が次々と自慢のスイーツをプレゼンテーションしました。審査委員からは、原価率や販売目標金額、具体的な販路などの質問が相次ぎました。そして、審査委員による採点とお客様からの試食投票にもとづく加点をあわせ、グランプリは、滋賀県の「丁子麩ラスク」、準グランプリは、兵庫県の「玄さん がんこサブレ」が受賞しました!

丁子麩ラスク



玄さん がんこサブレ



和三盆ブリュレ



市町村や福祉圏域などで販路開拓を目的に「共同受注ネットワーク」をつくられているところがいくつかあります。そんな取り組みをご紹介します。

障がい者の自己実現と自立生活を目指して

「たかつき授産事業共同受注ネットワーク」
社会福祉法人つながり 理事 今井 司

高槻市においては工賃改善のため2009年に、旧・高槻作業所連絡会(現・高槻事業所連絡会)に加盟している障がい者福祉事業所が互いの短所を補い、長所を共用できるネットワークの構築と情報を一元化するための共同受注窓口を設置して、営業力の強化と行政機関等からの大量発注に耐えうる生産システムを創りました。現在は、企業・行政機関等から年間約6~700万円の受注を頂いているほか、高槻青年会議所との授産品見本市開催、市役所における共同販売会(たかつきOまるしえ)、高槻市キャラクター「はにたん」グッズの製造・販売、市立今

城塚古代歴史館ミュージアムグッズの製造請負など様々な活動を行っています。今後は「障害者優先調達推進法」施行を機に積極的に行政機関へ提案を行っていきます。官公需の発注が少ないから工賃が改善されない等との言い訳はもう通用しません。私たちが行政ニーズを分析・把握してそれに見合う授産事業を提供していかなければ工賃改善は夢のまた夢となるでしょう。そのためにはスキルを身に付け、高槻市のみならず北摂地域はもちろん大阪府全域にネットワークを広げていく必要があると考えています。

